



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月6日

上場会社名 サンデンホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6444 URL https://www.sanden.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 西 勝也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 秋間 透 (TEL) 03-5209-3341
 四半期報告書提出予定日 2019年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	127,988	△6.9	148	88.7	△2,676	—	1,778	—
2019年3月期第2四半期	137,474	△2.8	78	△95.7	△463	—	△1,184	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △231百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △4,039百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	64.22	—
2019年3月期第2四半期	△42.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	239,902	23,364	8.1	698.27
2019年3月期	246,401	23,538	7.7	685.04

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 19,372百万円 2019年3月期 18,959百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	△21.5	500	△43.8	△4,000	—	9,000	—	324.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 1社(社名) SANDEN INTERNATIONAL (EUROPE) LTD.

(注)詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	28,066,313株	2019年3月期	28,066,313株
2020年3月期2Q	322,074株	2019年3月期	389,207株
2020年3月期2Q	27,699,397株	2019年3月期2Q	27,657,096株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2023年度を最終年度とする中期経営計画（名称：SCOPE2023）を達成するために「生産体制の抜本的見直し」、「基盤収益力の向上」、「積極的な『協創』による成長」、「資産改革によるキャッシュフロー創出」、「実行のための仕組み改革」の5つの改革プランに日々取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の世界経済及び日本経済は、米中貿易摩擦の一層の激化や中国経済の減速、欧州における英国の欧州連合（EU）離脱問題の長期化、インド地域の成長鈍化等、景気の先行きに不透明性が高まり、製造業の減速感も高まっております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、流通システム事業の販売増があるものの、中国市場等海外を中心とした自動車販売の減速等の影響を受け、127,988百万円（前年同期比6.9%減）となりました。損益につきましては、自動車事業の減収の影響はありましたが、流通事業の増収影響、全社的な収益性向上に向けたコスト改善活動の取り組みにより、営業利益は148百万円（前年同期比88.7%増）、経常損失は2,676百万円（前年同期は経常損失463百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、当期及び今後の業績見通し等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、1,778百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,184百万円）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりです。

A. 自動車機器事業

自動車機器事業においては、顧客の環境指向を的確に捉えた最先端の商品開発を進め、小型・軽量化、省動力化を軸に価値ある製品を提供してまいりました。しかしながら、世界的な自動車市場の減速影響を受けた主要顧客の需要減により、売上高は前年同期に比べ減収となりました。

利益については、原価低減や更なる費用見直しを進めましたが、急激な販売減により、前年同期に比べ減益となりました。

その結果、売上高は79,628百万円（前年同期比20.6%減）、営業損失は2,244百万円（前年同期は営業利益1,459百万円）となりました。

B. 流通システム事業

店舗システム事業においては、顧客の成長戦略及び環境指向に対応した製品・システム・サービスのトータルな提案・提供を継続してまいりました。売上高はコンビニエンスストアの新規出店の鈍化はあるものの、国内店舗システムにおけるコーヒーサーバーの新規納入等により前年同期に比べ増収となりました。

コールドチェーン事業においては、国内自動販売機市場の伸び悩みがあるものの、積極的な新製品の展開また環境製品の開発や産地から店舗までを繋ぐ新サービスの提案によるビジネス拡大を図り、売上高は前年同期に比べ増収となりました。

利益については、規模増の影響等により、前年同期に比べ増益となりました。その結果、売上高は43,196百万円（前年同期比33.9%増）、営業利益は2,439百万円（前年同期は営業損失1,083百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

A. 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金の減少により、前連結会計年度末に比べて6,498百万円減少し、239,902百万円となりました。

負債については、主に支払手形及び買掛金等の減少により、前連結会計年度末に比べて6,324百万円減少し、216,537百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益等の増加はあるものの、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べて174百万円減少し、23,364百万円となりました。

B. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,438百万円減少し、11,591百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により8,875百万円（前年同期比9,616百万円の収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出5,293百万円等により、△7,227百万円（前年同期比2,209百万円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済及び社債の償還により11,348百万円等の支出があったものの、短期借入金の純増減額9,721百万円の収入等により、△2,783百万円（前年同期比10,793百万円の収入減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表しました2020年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正しております。

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 275,000	百万円 3,000	百万円 2,500	百万円 500	円 銭 18.07
今回修正予想 (B)	215,000	500	△4,000	9,000	324.92
増減額 (B-A)	△60,000	△2,500	△6,500	8,500	—
増減率 (%)	△21.8%	△83.3%	—	—	—
(ご参考) 前年実績 (2019年3月期)	273,934	889	564	△23,060	△833.58

詳細につきましては、本日付け「業績予想の修正及び特別損益の計上（見込み）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,030	15,072
受取手形及び売掛金	73,591	60,083
商品及び製品	24,142	25,425
仕掛品	11,685	11,438
原材料	9,249	8,832
その他のたな卸資産	3,194	3,194
未収入金	5,975	3,976
未収消費税等	4,575	4,450
その他	9,531	8,579
貸倒引当金	△16,562	△16,805
流動資産合計	138,412	124,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,767	20,393
機械装置及び運搬具（純額）	20,873	19,831
工具、器具及び備品（純額）	5,217	5,015
土地	16,776	16,422
リース資産（純額）	7,615	10,715
建設仮勘定	6,187	6,148
有形固定資産合計	77,436	78,525
無形固定資産		
のれん	27	19
リース資産	351	398
その他	3,699	3,986
無形固定資産合計	4,078	4,404
投資その他の資産		
投資有価証券	21,873	23,016
退職給付に係る資産	110	110
繰延税金資産	2,240	7,516
その他	5,856	4,737
貸倒引当金	△3,606	△2,655
投資その他の資産合計	26,473	32,724
固定資産合計	107,988	115,655
資産合計	246,401	239,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,000	46,292
短期借入金	51,513	60,052
1年内償還予定の社債	1,505	1,785
1年内返済予定の長期借入金	23,704	23,592
未払金	7,553	7,851
リース債務	2,175	2,932
未払法人税等	478	658
賞与引当金	3,347	2,904
売上割戻引当金	426	238
製品保証引当金	2,782	2,258
損害賠償損失引当金	432	26
その他	12,789	11,217
流動負債合計	156,710	159,813
固定負債		
社債	5,832	4,940
長期借入金	47,939	36,768
リース債務	5,974	8,361
繰延税金負債	245	255
退職給付に係る負債	3,653	4,046
環境費用引当金	243	219
株式報酬引当金	255	171
その他	2,005	1,961
固定負債合計	66,151	56,724
負債合計	222,862	216,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	3,579	3,579
利益剰余金	10,484	12,263
自己株式	△877	△753
株主資本合計	24,225	26,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	221
繰延ヘッジ損益	△84	△74
為替換算調整勘定	△4,297	△5,335
退職給付に係る調整累計額	△1,140	△1,566
その他の包括利益累計額合計	△5,265	△6,754
非支配株主持分	4,579	3,992
純資産合計	23,538	23,364
負債純資産合計	246,401	239,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	137,474	127,988
売上原価	114,072	105,332
売上総利益	23,402	22,656
販売費及び一般管理費	23,323	22,507
営業利益	78	148
営業外収益		
受取利息	34	227
受取配当金	17	13
為替差益	1,111	—
持分法による投資利益	—	619
その他	367	367
営業外収益合計	1,531	1,228
営業外費用		
支払利息	1,276	1,283
為替差損	—	1,817
持分法による投資損失	56	—
その他	740	952
営業外費用合計	2,073	4,053
経常損失(△)	△463	△2,676
特別利益		
固定資産売却益	203	33
投資有価証券売却益	63	9
その他	5	8
特別利益合計	273	51
特別損失		
固定資産処分損	104	264
構造改革費用	—	377
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	109	—
その他	157	55
特別損失合計	371	697
税金等調整前四半期純損失(△)	△562	△3,322
法人税等	793	△4,683
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,356	1,360
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△171	△418
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,184	1,778

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,356	1,360
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△38
繰延ヘッジ損益	△69	10
為替換算調整勘定	441	△954
退職給付に係る調整額	163	△426
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,220	△183
その他の包括利益合計	△2,683	△1,591
四半期包括利益	△4,039	△231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,648	289
非支配株主に係る四半期包括利益	△391	△520

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△562	△3,322
減価償却費	5,489	5,404
賞与引当金の増減額(△は減少)	△563	△414
貸倒引当金の増減額(△は減少)	41	△27
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△377	△477
損害賠償損失引当金の増減額(△は減少)	△889	△405
受取利息及び受取配当金	△51	△241
支払利息	1,276	1,283
持分法による投資損益(△は益)	56	△619
構造改革費用	—	377
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩損	109	—
売上債権の増減額(△は増加)	△277	11,862
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,453	△2,036
未収入金の増減額(△は増加)	218	1,936
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,763	268
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,403	△3,091
未払金の増減額(△は減少)	837	△343
未払費用の増減額(△は減少)	1,066	266
その他	△447	△2,073
小計	△693	8,342
利息及び配当金の受取額	1,518	1,611
利息の支払額	△1,300	△1,340
特別退職金の支払額	—	△228
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△265	489
営業活動によるキャッシュ・フロー	△740	8,875
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,595	△5,293
有形固定資産の売却による収入	1,265	2,257
無形固定資産の取得による支出	△279	△630
投資有価証券の取得による支出	△110	△100
投資有価証券の売却による収入	742	19
定期預金の預入による支出	—	△3,480
その他	△40	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,018	△7,227

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,606	9,721
長期借入れによる収入	15,259	177
長期借入金の返済による支出	△8,675	△10,736
社債の発行による収入	1,469	—
社債の償還による支出	△250	△612
リース債務の返済による支出	△1,302	△1,446
自己株式の取得による支出	△231	△0
自己株式の売却による収入	261	123
非支配株主への配当金の支払額	—	△11
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△127	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,010	△2,783
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	△302
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,321	△1,438
現金及び現金同等物の期首残高	18,776	13,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,097	11,591

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p> <p>ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。</p> <p>なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。</p>

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった SANDEN INTERNATIONAL (EUROPE) LTD. は、連結子会社である SANDEN INTERNATIONAL (EUROPE) GMBHを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しています。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が1,657百万円増加し、流動負債の「リース債務」が427百万円及び固定負債の「リース債務」が1,293百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローの支出が148百万円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローの支出が148百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	自動車 機器事業	流通シス テム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	100,240	32,267	132,507	4,967	137,474	—	137,474
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	100,240	32,267	132,507	4,967	137,474	—	137,474
セグメント利益又は損失(△)	1,459	△1,083	375	△297	78	—	78

(注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	自動車 機器事業	流通シス テム事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	79,628	43,196	122,824	5,163	127,988	—	127,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	79,628	43,196	122,824	5,163	127,988	—	127,988
セグメント利益又は損失(△)	△2,244	2,439	194	△46	148	—	148

(注) 1. 「その他」の区分は、車両販売事業、住環境システム事業、電子事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。